

# ありよし

校訓： 創造 友愛 鍛練

令和7年度 学校だより

令和8年3月24日  
千葉市立有吉中学校  
Tel: 043 (293) 2600



## 230名の3年生が卒業しました

春の訪れを感じる3月10日（火）、230名の3年生が無事に卒業しました。それぞれの思いを込めて式に臨んだ3年生の姿は、とても立派でした。校歌や卒業の歌「群青」の合唱では、共に歩んだ仲間との固い絆への思いや、人生の新たな一步を踏み出す力強い決意が感じられ、胸に熱いものがこみ上げてきました。



自分の道を自分で決める人生へと、歩き出した卒業生たち。9年間の義務教育で学んだことを礎に、大きく羽ばたいてほしいと思います。

## 学校長式辞（抜粋）

校長

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、皆さん一人一人に卒業証書を手渡ししました。その証書は、九か年の義務教育をやり遂げた努力の証であり、皆さんが歩んできた日々の積み重ねの証でもあります。この三年間、皆さんは学習や部活動、生徒会活動に全力で取り組み、学校行事を大いに盛り上げてくれました。特に最後の体育祭、そして合唱コンクールは格別で、多くの人々の心を打つものでした。仲間と支え合い、励まし合いながら成長してきた皆さんの姿は、私たちに大きな感動を与えてくれました。皆さんはこの三年間で、人とのつながりの大切さを学んだのではないのでしょうか。友達、先生、地域の方々、そして家族。多くの人との関わりの中で、皆さんは支えられ、そして成長してきました。この「つながり」は、これからの人生においてもかけがえのない財産となるはずです。どうかこれからも大切にしてください。四月から、皆さんはそれぞれの夢や希望を胸に、新しい道へと進んでいきます。その未来が、皆さん一人一人にとって輝きに満ちたものであることを、心から願っています。しかし、皆さんが生きていくこれからの社会は、決して平坦な道ばかりではありません。世界では争いや対立が続き、自然災害や社会の急激な変化など、私たちの想像を超える出来事も起こります。さらに、少子高齢化や急速な情報化など、これまで経験したことのない課題にも向き合っていかなければなりません。そのような時代を生き抜き、未来を切り拓いていくために、私の心に残っている話を二つ贈ります。

一つ目は、私がある本の中で出会った問いについてです。その問いとは、「あなたのこれまでの人生で、最も後悔していることは何か」というものでした。私はこの問いに対して、「もっと勉強すればよかった」「あの時こちらを選べばよかった」と、あれこれ考えてしまい、一つに絞ることができませんでした。皆さんはどうでしょうか。その本の著者が導き出した答えは、「人に優しくなれなかったこと」でした。非常に深く、考えさせられる答えです。これから皆さんは、多くの知識や技術を身に付けていくことでしょう。しかし、どれほど成功を収めたとしても、最後に人を動かし、自分自身を支えるのは「人としての在り方」です。どんなに時代が変わり、スピードが求められる世の中になっても、「人に優しくあること」を忘れないでほしいと願っています。

もう一つは、カナダの作家モンゴメリー夫人が、『赤毛のアン』の主人公アン・シャーリーに語らせた言葉です。「私は曲がり角のある道が大好き。角を曲がった先に、どんな景色が広がり、どんな出会いや出来事が待っているのかしらと、わくわくするの。」これから皆さんの前には、多くの「曲がり角」が現れることでしょう。人生という長い道のりを考えれば、必ずしも最短

距離や近道を選ぶ必要はありません。回り道や遠回りをすることを、どうか恐れなくてください。曲がり角の先には、思いもかけない素晴らしい出会いがきっと待っています。その出会いを大切にしながら、皆さん一人一人が自分の人生を力強く歩いていくことを心から願っています。

有吉中学校を卒業する皆さんには、十年後も、二十年後も、それぞれが自分らしい幸せの中で生きていてほしい。それが私の心からの願いです。そのためにも、今日ここにいる仲間との出会い、先生方との時間、そして支えてくれた家族への感謝を、どうか忘れないでください。皆さんがこれから歩いていく道は、それぞれ異なります。しかし、どこにいても、有吉中学校で過ごした日々は、皆さんの心の中で確かな支えとなり続けるはずです。困難に出会ったときには、ここで過ごした三年間を思い出してください。仲間と笑い合い、力を合わせ、乗り越えてきた経験が、きっと皆さんを再び前へと進ませてくれるでしょう。私たち教職員一同は、皆さん一人一人のこれからの歩みを、いつまでも応援しています。どうか自分を信じ、仲間を大切にしながら、それぞれの未来へ向かって大きく羽ばたいてください。

最後に、私たち教職員一同、生徒一人一人を大切に教育に努めてまいりましたが、至らぬ点も多々あったことと存じます。ここにお詫び申し上げますとともに、これまで賜りました温かいご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

結びに、卒業生の皆さん一人一人の未来が希望に満ち、輝くものであることを心から願い、校長式辞といたします。



## 卒業の言葉(抜粋)

## 卒業生代表

振り返れば三年前、私たちは大きな期待と、それ以上の不安を胸に、この体育館で入学式を迎えました。新しく、着慣れない制服に身を包み、これから始まる未知の生活へ、気を引き締めた一年生。いざ、中学校生活が始まると、教科ごとに先生が入れ替わることや、放課後にある部活動、初めての中間テストなど、小学校にはなかったことがたくさんあり、とても新鮮な毎日でした。特に思い出深かった校外学習では、訪れた先で、展示の中に紛れ込んだ、ミニチュアサイズになった先生のフィギュアを、夢中になって探し、盛り上がったあの時間や、移動中のバスで行ったレクの時間は、私たちの心の距離を一気に縮めてくれるものでした。

初めて先輩と呼ばれるようになった二年生。委員会や部活動でも中心となることが増え、「先輩」になることの大変さや、頼られることの喜びを知りました。学年の絆をさらに深めるきっかけとなったのは、二泊三日で訪れた自然教室です。寝食を共にする中で、仲間の新しい一面を発見したり、普段は話さないような話を共に語り合ったりしました。仲間と励まし合いスキーを楽しんだこと、キャンドルサービスの時、みんなでアカシアを歌ったことは、かけがえのない時間です。

すべての学校行事が集大成として意味をもつようになった三年生。五月に行われた中学生として最後の体育祭で、特に忘れられないのは学級対抗リレーを前に各クラスがそれぞれ円陣を組んだ光景です。競い合うライバルでありながら、ともにこの一瞬に全力を尽くす仲間の姿に、この学年の一員であることを幸せに感じました。そして、最後の宿泊行事となった修学旅行。二泊三日で行った長野の旅で、一番心に残っているのは民泊です。民泊では、農家の方に収穫方法を教えてもらい自分たちで収穫した野菜で料理したり、夜ホテルを見に行ったりなど、それぞれの民泊先での出来事は、普段の生活では味わえない貴重な体験となりました。自分たちの手で何かを成し遂げる達成感や、民泊先の方々が家族のように接してくれたことで、人の温かさを感じることができました。これらの行事と並んで、私たちの心に深く刻み込まれているのは、最後の学校行事である合唱コンクールです。本番が近づくとつれて、昼休みや放課後の教室には、練習の歌声が響いていました。本番ではどのクラスもこれまでの歩みが込められた、そのクラスでしかできない合唱であり、会場は感動に包まれました。

合唱コンクールが終わると、私たちはすぐに進路という大きな壁に立ち向かうことになりました。教室の空気感もいつしか、誰もが自分自身の将来と真剣に向き合う、心地よい緊張感に包まれるよ

うになりました。進路と向き合う中で上手くいかないことも多く、焦る気持ちが空回りする毎日でした。そんな私たちと、真正面から向き合ってくれたのが先生方でした。先生方は私たちを一人の人間として信じ続けてくださいました。だからこそ私たちも自分を信じ、今日という日を迎えることができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。そして、誰よりも一番近くで私たちの歩みを支えてくれた家族にも感謝の言葉が尽きません。進路のことで頭がいっぱいになり、つい強い言葉をぶつけてしまったり、素直になれなかったり、心配をかけたり。ごめんなさい。それでも信じて見守ってくれたこと。これまで支えてくれたこと。口に出すのは少し照れくさいけど心から感謝しています。今までありがとう。

最後にこの三年間ともに笑い、ともに過ごしてきた仲間へ。この学校で同じ時間を共有できたことを今、心から幸せに思います。出会ってくれてありがとう。一緒に笑い合ってくれてありがとう。たくさんの思い出をありがとう。そして、立ち止まりそうになった時はともに切磋琢磨した仲間の顔を思い出してください。

私たちは今日、義務教育を修了という一つの大きな区切りを迎えます。これからは、自分自身の意思で道を選び、切り拓いていかなければなりません。私たちはこれから待ち受ける未知の荒波を乗り越え、自らの足で新しい世界を歩んでいきます。

## 送別の言葉（抜粋）

## 在校生代表

百人一首に「侘びぬれば 今はた同じ 難波なる 身を尽くしても 逢はむとぞ思う」という歌があります。この歌は本来恋の歌です。しかし、私はその「身を尽くす」という言葉に先輩方の目的のために全力を尽くす姿を重ねずにはいられませんでした。そしてこの学校を正しく導いてくださった先輩方は私たちの航路を示してくれる漣漂そのものでした。

入学したばかりの頃、不安でいっぱいだった私たちを優しく迎え入れてくださったのは先輩方でした。特に生徒会活動や部活動でのリーダーシップ、そして廊下ですれ違うときにかけてくださった何気ない言葉にどれほど救われたかわかりません。

しかし、先輩方はただ優しいだけではありませんでした。時に厳しく、自分の甘さを指摘してくださいました。指摘されたとき、私は自分の至らなさを自覚し真っ青になりましたが、その厳しさこそが、私たちはただ役職を引き継いだらよいのではない、学校を背負うことの本当の重みを教えてくれました。ただ仲が良いのではない。馴れ合いだけではない先輩方だからこそ体育祭での仲間を鼓舞する魂からの叫び、最後まで勝利をあきらめない姿がありました。合唱コンクールでホールを震わせ、私たちの心を驚掴みにした力強く透き通った歌声がありました。それぞれの場所で最高学年としての誇りを体現する姿に「自分たちもこうありたい」と強く焦がれたのです。

明日からは私たちが自ら漣漂となり、この学校を導いていきます。先輩方がいなくなることに寂しさも不安も感じますが、私たちはもう教わるだけの後輩ではありません。先輩方が築かれた伝統を守るだけでなく、ふと振り返ったとき、今まで以上に誇らしく思える場所にすることを誓います。今まで本当にありがとうございました。

## ●不安や悩みを話してみませんか

新年度を迎えるにあたり、不安や悩みを抱えている方も多いと思います。お子様の態度に現れる微妙なサインに注意を払いながら、不安や悩みの声に耳を傾けて受け止めていくことが大切です。千葉市教育委員会には、いじめや学校生活の悩みなどの電話相談に24時間体制で対応できる「千葉市教育相談ダイヤル24」があります。お子様だけでなく、保護者の方もご利用いただけます。それ以外にも様々な相談機関や相談窓口がありますので、ご活用ください。

- ・千葉市教育相談ダイヤル24 電話 0120-101-830 (24時間)
- ・24時間子どもSOSダイヤル 電話 0120-0-78310 (24時間)

- ・千葉市児童相談所 東部児童相談所（中央・若葉・緑区）電話 043 277-8820（24 時間）
- ・子供のSOSダイヤル等相談窓口  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm)（文部科学省HP）
- ・こども・大人のみなさん向けの動画・漫画（こども家庭庁ホームページ）  
<https://www.cfa.go.jp/councils/nayami-uketomeruba/koho>

## ●安全で楽しい春休みを！

新学期が始まるまでの2週間、子供たちは学校から離れて生活を送ることになります。年度末、年度始めは、多くの人慣れない環境の中で行き交う時期でもあり、車もその一つです。急な飛び出しや安全不確認による交通事故などに合わないよう、十分お気を付けください。

また春休みは、友達と自転車で出かける機会も増えることと思います。令和6年11月1日から「道路交通法の一部を改正する法律」が施行されました。これにより、自転車の危険な運転に新しく罰則が整備されました。具体的には、スマートフォンなどを手で所持して、自転車に乗りながら通話する行為、画面を注視する行為が新たに禁止され、罰則の対象となります。

大切な身体を自分で守るため、そして、自分の危険な運転で相手にもけがをさせないように気を付け、春休み中は事故やけがなく、安全に生活してほしいと思います。



スマートフォンなどを手で保持して、自転車に乗りながら通話する行為、画面を注視する行為が新たに禁止され、罰則の対象となりました。  
※停止中の操作は対象外

違反者は、**6月以下の懲役又は10万円以下の罰金**  
 .....  
 交通の危険を生じさせた場合、**1年以下の懲役又は30万円以下の罰金**

## 4月の行事予定

月 日	行 事
1日(水)～7日(火)	学年始め休業
8日(水)	着任式・前期始業式 入学式準備
9日(木)	入学式
10日(金)	特別日課開始 お弁当の日
11日(土)	やまもも会 総務部 引継ぎ
13日(月)	給食開始 避難訓練
14日(火)	発育測定 個人写真撮影
15日(水)	専門委員会 尿検査一次
16日(木)	仮時間割開始 職員会議
20日(月)	3年全国学力状況調査(英(読む書く聞く)質問調査) 3年歯科検診
23日(木)	3年全国学力状況調査(国・数) 正式時間割開始
24日(金)	1年歯科検診
27日(月)	学級懇談会・学年保護者会 3年修学旅行説明会 やまもも会 各チーム役員 引継ぎ
30日(木)	3年全国学力状況調査(英(話す))



☞ 4月行事の詳細は、新年度にあらためてお知らせいたします。

本年度も本校の教育活動にご理解ご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

厳しい冬を耐え、あたたかな春の訪れとともに少しずつ膨らんでいく桜の蕾は、人が目標に向かって努力を重ねる姿、困難を乗り越え成長していく姿と重なります。

「はるの道」の桜の開花とともにやってくる新たな出会いが、子供たちや保護者の皆様にとって希望と喜びにあふれることを願いながら、令和7年度を締めくりたいと思います。

